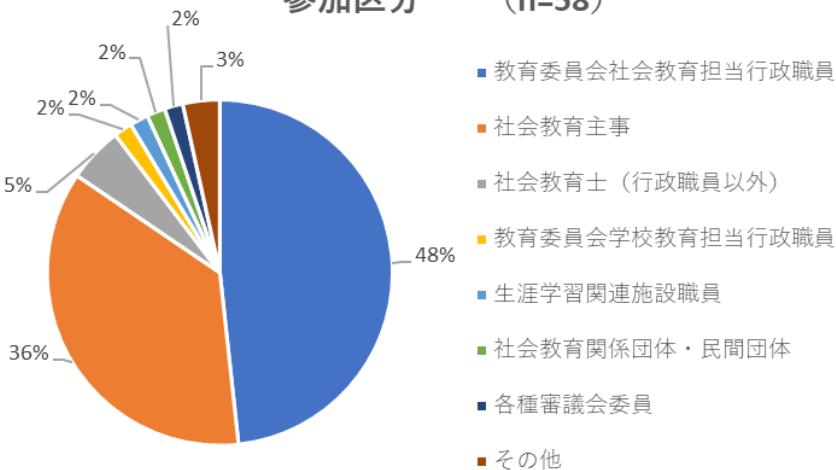


「北海道社会教育セミナー」

事業の内容

- 1 日時 令和8年5月28日（木）
～29日（金）
- 2 場所 道民活動センタービル かでる2・7
- 3 参加者 153名
内訳 基礎講座 54名
研究協議 67名
オンライン 32名

参加区分 (n=58)

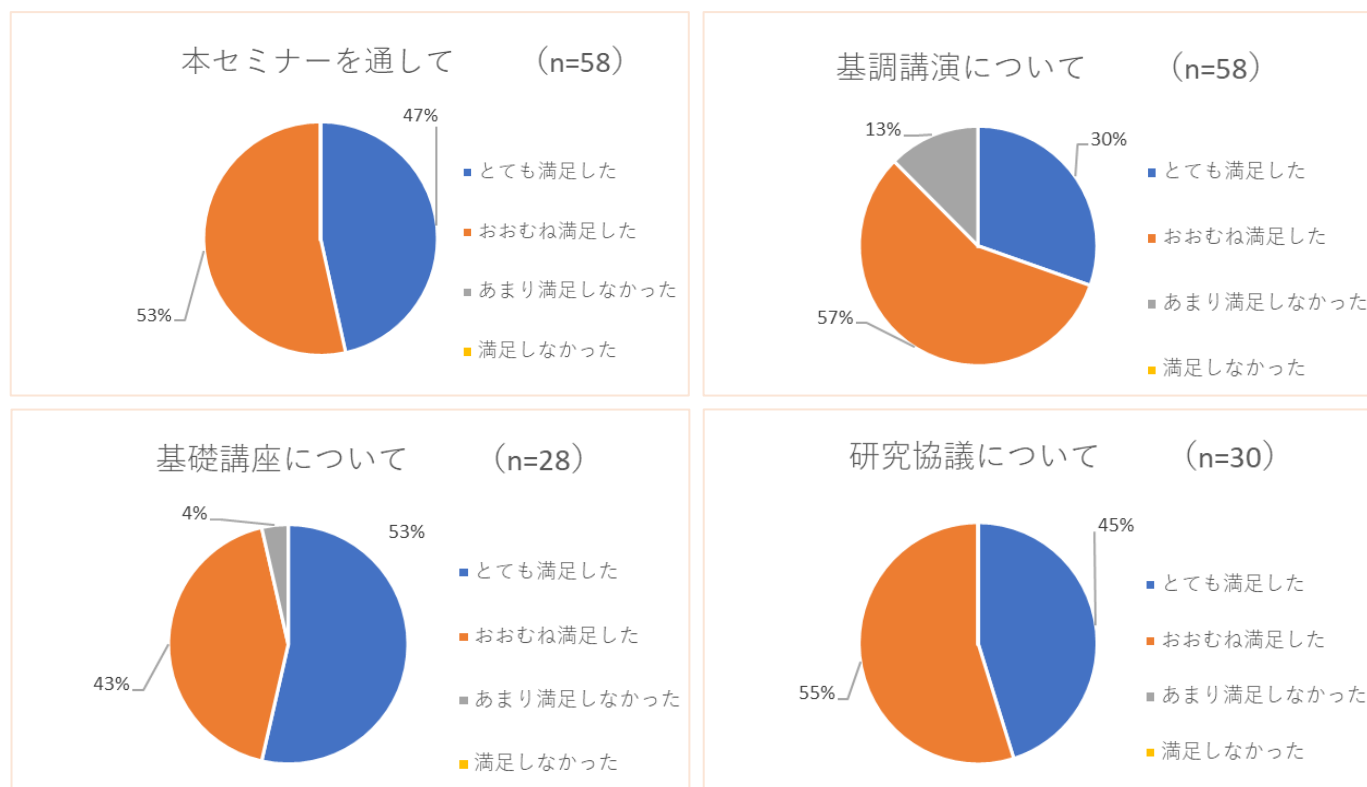


I プログラム

9:00	10:00	10:15	11:45	12:00	13:30	13:45	15:00	16:00	16:45	17:00
1日目	受付	開会	基調講演 (かでるホール) 【オンライン配信】	テーマ説明	昼食・休憩	研究協議 説明	研究協議 I (A・B・C)			
							基礎講座 (ア)	基礎講座 (イ)		
2日目	受付	研究協議 II		全体会閉会	<ul style="list-style-type: none"> ○ 1日目の受付は9:30からとなります。終了時刻は17:00予定です。 ○ 基調講演のみオンライン配信します。 ○ 2日目の受付(9:15)は各会場となります。 ○ 2日目の全体会と閉会は「かでるホール」で行います。 					
		基礎講座 (ウ)								

<p>【基調講演】 「これからの社会教育人材のネットワークづくりに向けて」</p> <p>【講師】 文部科学省 地域学習推進課 課長補佐 齊藤陽介氏</p>	<p>【内容】 社会教育人材には、多様な立場の人が協働し合うネットワークづくりが重要であり、地域課題の解決には連携の仕組みや情報共有の基盤づくりが重要であることを学ぶことができた。</p>
<p>【研究協議】 「持続可能な社会教育推進に向けた 評価指標の整理と社会教育人材ネットワークの構築」 A「ひと」 B「環境」 C「事業構成」</p>	<p>【内容】 評価指標の整理を通じて、自らの実践を振り返ることの重要性を理解した。また、ネットワーク構築における課題と対策を考えることで、今後連携を進める上での糸口をつかむことができた。</p>
<p>【基礎講座】 ア「アイスブレイクの意義と手法」 講師：講師：北海道教育庁 上川教育局 イ「市町村 社会教育主事の役割と今後の方向性」 講師：北海道教育庁 関係教育局 ウ「社会教育士の活動事例：ヒトとヒグマの社会課題解決に向けた普及・啓発事業と社会教育士のネットワークづくり」 講師：特定非営利活動法人 TSUNAGU 理事長 中島明子氏</p>	<p>【内容】 基礎講座全体を通して、社会教育事業を企画・運営するために必要な基礎知識や技能、考え方などを学ぶことができた。 また、社会教育主事の役割や専門性を学ぶとともに、社会教育士の具体的な実践から、課題を解決していくための方法や多様な立場の方との連携の仕方などについて理解を深めることができた。</p>

Ⅱ アンケート結果



Ⅲ 参加者の声

- ・ 社会教育に携わるようになって日が浅かったため、社会教育のあり方、推進方策等について学ぶことができ、貴重な時間をいただきました。
- ・ 社会教育を広めていく為に必要なネットワーク作りの大切さを改めて感じました。早急に堅固なネットワークが、必要なことを切に感じています。
- ・ 自己評価項目を協議するのは非常に参考になりました。
- ・ 社会教育士の方の参加もあり、これまで以上に幅が広がったと感じました。話し合いグループは、一つではなく、いくつか実施できたことでいろんな人と話ができ、とても良かったです。
- ・ 積極的に地域の様々な活動の場に顔を出し、人とつながることをしていこうと思いました。



Ⅳ 担当者からひとこと

基調講演では、社会教育人材がつながることで生まれる新たな可能性を強く感じるとともに、互いの経験や視点を共有し合うことで、地域を支える力がより豊かに発展していくことを実感しました。また、事後アンケートでは、様々な立場の方々から学びが深まったという声をいただき、運営として大変嬉しく感じております。今後もニーズに応じた学びの場をつくり、さらなる社会教育人材の資質向上につながる取組を実践していきたいと考えております。